

平成 22 年度新農薬実用化試験で注目された 病虫害防除薬剤

(社)日本植物防疫協会調査企画部 はやし なおと ぬまた きょうた
林 直人・沼田 京太

はじめに

平成 22 年度の新農薬実用化試験については、10 月 21 日の茶試験成績検討会を皮切りに、稲・野菜関係地域成績検討会、果樹等試験成績検討会、生物農薬試験検討会等順次開催され、依頼された薬剤の各種病虫害に対する効果や薬害、使用方法の検討が行われた。

ここでは、平成 22 年度に依頼された試験の中で、注目された薬剤並びにその傾向について紹介する。

I 新農薬実用化試験の動向

[殺菌剤]

本年度依頼された試験薬剤は 265 剤であった（生物農薬を含む）。これら薬剤についてそれぞれ複数の作物、病害に対して延べ 1,951 件の試験が実施された。成分が新規化合物単剤もしくは新規化合物同士の混合剤である製剤は 33 剤（12.5%）、新規化合物と既知化合物の混合剤は 5 剤（1.9%）であった（図-1）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係では、本年度初めて依頼された新規化合物を含む製剤は 7 剤で、このうち 3 剤は稲の育苗箱施用剤であった。依頼のおよそ 6 割は本田で発生する稲病害を対象にした育苗箱施用の粒剤で、なかでも抵抗性誘導を起こす有効成分を持つ製剤と殺虫成分の混合製剤が数多く試験された。粉剤、水和剤等の稲の本田処理剤や種子消毒等は全体の 2 割、麦関係の依頼薬剤は稲麦全体の約 2 割であった。病害別では稲ではいもち病を対象とした試験薬剤が最も多かったが、昨年に比べ減少しておりごま葉枯病菌による穂枯れや細菌性病害の白葉枯病、もみ枯細菌病が増加した。麦関係では雪腐病の試験薬剤が多かった。

野菜関係は、初めて依頼された新規化合物を含む製剤は 5 剤であった。野菜全体ではここ数年活況を呈してきた新規べと・疫剤や幅広い作物病害に効果のある大型剤の試験がひと段落し、既登録剤の適用拡大試験が最も多く、作物病害も多岐にわたった。全体に茎葉散布剤が多

かったが昨年に比較し種子処理剤や種いも等に処理する試験薬剤がやや増加した。

果樹関係は落葉果樹、寒冷地果樹、常緑果樹ともに昨年とほぼ同様の件数であった。

茶の分野では、試験薬剤数は 8 剤で昨年と同様であった。このうち初めて依頼された新規化合物を含む製剤は 2 剤、既知成分だが昨年から新たに茶病害に適用拡大を始めた製剤が 2 剤、新規化合物製剤で昨年から茶分野で試験が開始された製剤が 1 剤と全体では薬剤数は少ないながらも今後期待される製剤が依頼されている。

芝草分野では薬剤数、試験数とも昨年とほぼ同様で炭疽病、葉腐病（ブラウンパッチ）、ダラースポット病の依頼が多かった。

生物農薬では、稲病害、野菜病害への試験数はともに半数ずつで、稲病害では従来から依頼の多い種子処理がほとんどで野菜病害ではうどんこ病、灰色かび病の依頼が多かった。

[殺虫剤]

本年度依頼された薬剤数は 302 剤で、それぞれ複数の作物・害虫に対して延べ 3,360 件の試験が実施された。新規成分の単剤は 29 剤、新規成分と既知成分の混合剤は 10 剤であった（図-2）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係は、ここ数年殺菌剤・殺虫剤共に新規剤の開発があり、それらの混合製剤を中心として活況であったが、それらが一段落してやや減少した。対象の病虫害も主要害虫以外の対象が多めであった。しかし個々の試験数はまだ少ないが今年からの

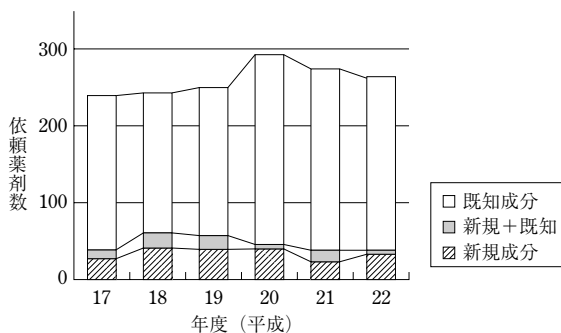


図-1 殺菌剤効果試験依頼薬剤数の推移

The Remarked Pesticides for the Efficacy Study in Japan (2010).
By Naoto HAYASHI and Kyota NUMATA

(キーワード: 殺虫剤, 殺菌剤, JPPA, 新農薬実用化試験, 平成 22 年度)

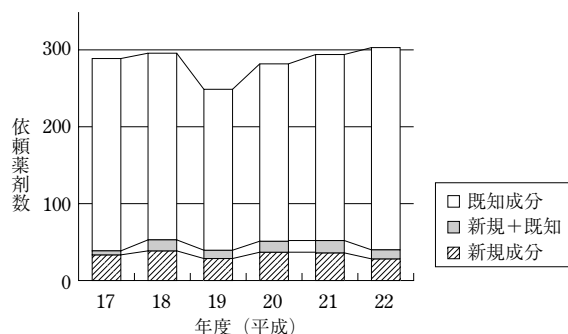


図-2 殺虫剤効果試験依頼薬剤数の推移

新剤が3剤あり今後期待される。種類としてはここ数年同様箱粒剤が全体の7割を超え圧倒的に多かった。

野菜関係は、今年から試験を開始した新規化合物が3剤、植物抽出物質が2剤、食品添加物が1剤あった。またここ数年で登場した新規化合物が単剤で、また既存剤との混合製剤としての開発が活発であり、多様な作物・害虫への試験が多数行われた。全体としては茎葉散布剤が主体であるが、ここ数年液剤のセルトレイ・ポット灌注、生育期株元灌注等も活発に開発されており、本年度は特にポット灌注の試験が多かった。それを反映して施設栽培の試験、特にコナジラミ類が多く依頼された。

果樹は寒冷地果樹が少なめであったが、落葉・常緑は平年並みであった。落葉果樹分野はここ数年活況のチョウ目害虫対象剤が相変わらず多かったが、カイガラムシ類に対する試験依頼が目立った。寒冷地果樹分野でも近年チョウ目害虫対象の試験が多かったが、本年度カメムシ目を得意とする新剤が2剤登場したことから今後期待される。常緑果樹分野では、多様な害虫に対して試験が実施されたが、ホコリダニ・ミカンサビダニの試験が多めであった。

茶分野では、猛威をふるっているミカントゲコナジラミの試験が一段落したが、クワシロカイガラムシを除き、発生が考えられるほぼすべての対象に広く試験が実施された。

芝分野では、近年最多の依頼があった昨年度をさらに上回る件数が実施された。新剤・既存剤が平行して活況であり、各種害虫に満遍なく試験が実施された。

生物農薬分野では、天敵1種、微生物剤3剤が新たに登場し、また天敵誘引物質の試験も加わり、入れ替わりはあるもののここ数年ほぼ同様な依頼数であった。しかし対象害虫はアブラムシ・コナジラミ・アザミウマが非常に多く、かつて試験が多かったハダニ対象剤は1剤のみであった。

表-1 平成 22 年度に初めて依頼のあった新規化合物 (病害防除)

薬剤コード・成分	依頼作物・病害	備考
IK-400 無機系物質	きゅうり：べと病	
IK-A301 水和剤 酵母抽出物 50%	いちご：うどんこ病	作物に病害抵抗性を誘導し効果を発揮する
MIF-1001 粒剤 新規化合物 3%	稲：いもち病	水面施用剤
MIM-1003, 1004, 1005 粒剤 新規化合物 12%, 9%, 6% 既知化合物 2%	稲：いもち病	既知の殺虫成分との混合剤で育苗箱施用剤
MIF-1002 フロアブル 新規化合物 20%	稲：いもち病、ぶどう：灰色かび病、りんご：黒星病、茶：炭疽病	
NC-233 フロアブル 20 新規化合物 200 g/L	いんげん：菌核病、なす：すすかび病、トマト：葉かび病、きゅうり：褐斑病、レタス：菌核病	
OR-03・油剤 シナムアルデヒド 99%	きゅうり：灰色かび病	食品添加物、加温機の温風で成分を揮発させハウス内に処理する
TAK-01・EW シナムアルデヒド 50%	かんきつ：灰色かび病	
SB-4101 植物抽出物 20%	きゅうり：うどんこ病	

II 注目される新規化合物を含む薬剤および新規生物製剤

[殺菌剤]

平成 22 年度に試験された試験受託時に未登録の新規化合物を含む薬剤 (生物農薬を含む) は 38 剤で、単剤は 33 剤、混合剤は 5 剤であった。このうち、本年度初めて依頼された成分は 12 剤であった (表-1, 3)。

このうち IK-400 (出光興産) はきゅうりべと病に試験され、IK-A301 水和剤 (出光興産) はいちごうどんこ病に試験された。MIF-1001 粒剤、MIM-1003 粒剤、MIM-1004 粒剤、MIM-1005 粒剤の 4 剤 (三井化学アグロ) は稲いもち病を対象に MIF-1001 粒剤は本田の湛水処理、MIM-1003 粒剤、MIM-1004 粒剤、MIM-

1005 粒剤の3剤は育苗箱施用剤である。MIF-1002 フロアブル (三井化学アグロ) は稲いもち病, おどろ灰色かび病, りんご黒星病, 茶炭疽病等幅広い病害を試験対象としている。NC-233 フロアブル 20 (日産化学) は, いんげん菌核病, なすすすかび病, トマト葉かび病, きゅうり褐斑病, レタス菌核病を対象に依頼されている。OR-03・油剤, TAK-01・EW (アビオンコーポレーション) の2剤は食品添加物のシンナムアルデヒドが成分で OR-03・油剤はきゅうり灰色かび病を対象に薬剤を加温機の温風熱で揮発させハウス全体を防除する試験が実施され高い防除効果を挙げている。また TAK-01・EW はかんきつ灰色かび病を対象に散布処理で試験を行っている。SB-4101 (エス・ディー・エスバイオ

テック)はきゅうりうどんこ病を対象に試験が行われた。

生物農薬では, 稲の種子消毒剤として KNB-W422 水和剤 (セントラル硝子) と IK-158 水和剤 (出光興産) の試験が行われた。新規細菌製剤の SB-9501 (エス・ディー・エス バイオテック) はピーマンときゅうりのうどんこ病に, 有効成分が乳酸菌の MK-0501 水和剤 (明治製菓) ははくさい軟腐病に試験が行われた。

[殺虫剤]

平成 22 年度に試験された, 依頼申請時に未登録の新規物を含む薬剤は 39 剤で, 単剤は 29 剤, 混合剤は 10 剤であった。これらのうち本年度初めて依頼のあった成分は 12 剤であった (表-2, 3)。

本年度初めて依頼のあった薬剤のうち, ALI-0922 乳剤 (アリストライフサイエンス) は物理的作用プラスアルファをもつとのことでアブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類に試験された。BCI-093SL (バイエルクロップサイエンス) は散布剤としてアブラムシ類・コナジラミ類に試験実施された。DAI-1001・1004 (ダウ・ケミカル日本) は多様な作物のウンカ類・ヨコバイ類・アブラムシ類・カメムシ類・カイガラムシ類・コナジラミ類に対して試験された。KUI-1001 顆粒水和剤 (クミアイ

表-2 平成 22 年度に初めて依頼のあった新規化合物 (害虫防除)

薬剤コード・成分	作物・病害虫	備考
ALI-0922 乳剤 植物抽出物質 0.6% 2 種混合	トマト:アブラムシ類・コナジラミ類 ばら:ハダニ類	物理的作用に加え, やや遅効的ながら殺虫・殺ダニ効果を有する
BCI-093SL 新規化合物 200 g/l	各種作物:アブラムシ類・コナジラミ類	
DAI-1001・1004 フロアブル 新規化合物 10%, 20%	各種作物:カメムシ目害虫	新規の作用性を有し, カメムシ目に対して活性が高い
KUI-1001 顆粒水和剤 新規化合物 37.5%	稲:イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ	灌注処理により浸透移行性を示す。摂食はすぐ停止するが, 条件により致死までに時間がかかる場合あり
NK-1001 乳剤 新規物質 82.5%	野菜類:アブラムシ類・ハダニ類	気門封鎖による物理的効果。速効性はあるが残効性はない
SB-7401 乳剤 植物抽出物質 25%	野菜類:アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ類・ハダニ類	接触することにより殺虫活性を示す
HK-DBM α-ピネン, サビネン, (Z)-3-ヘキセニルアセテート, n-ヘプタナール	アブラナ科野菜:コナガ	天敵のコナガサムライコマユバチを誘引する
Magnet 各種食品添加物	アブラナ科野菜:コナガ	成虫を誘引し, 混合する殺虫剤を摂食させ, 次世代幼虫被害を抑える

表-3 平成 22 年度に初めて依頼のあった生物農薬

薬剤名	成分	対象作物・病害虫
(病害防除)		
KNB-W422 水和剤	糸状菌	稲:もみ枯細菌病, 苗立枯細菌病, ばか苗病
SB-9501	細菌	ピーマン, きゅうり:うどんこ病
IK-158 水和剤	タラロマイセスフラバス	稲:いもち病, もみ枯細菌病, 苗立枯細菌病, ばか苗, 苗立枯病 (フザリウム菌, リゾープス菌, トリコデルマ菌)
MK-0501 水和剤	乳酸菌	はくさい:軟腐病
(害虫防除)		
ALB-0663	昆虫病原性糸状菌 (メタリジウム属菌)	なす・きゅうり:アザミウマ類
IK-2014 水和剤	バチルス チューリンゲンシス芽胞	稲:チョウ目害虫
IK-2017 水和剤	バチルス チューリンゲンシス芽胞	稲:チョウ目害虫
IK-2018 水和剤	新規糸状菌胞子	きゅうり:コナジラミ類, キャベツ:コナガ

表-4 最近名称変更のあった主な薬剤

旧薬剤名	変更後名称	成分名・量
(殺菌剤)		
BEF0006 フロアブル	デディケートフロアブル	テブコナゾール 18.2% トリフロキシストロピン 9.1%
BEF0588 フロアブル	ミラージュフロアブル	テブコナゾール 21.4%
DKF-0113 ドライフロアブル	コサイド 3000 ドライフロアブル	水酸化第二銅 46.1%
IKF-309SC	プロバティフロアブル	ピリオフェノン 26.8%
KPP-105-C 水和剤	イキイキグリーン水和剤	<i>Paenibacillus polymyxa</i> 2 × 10 ¹⁰ CFU/g 以上
KUF-2102	エコフィット	食品 100%
NR-20 水和剤	アグロケア水和剤	バチルス ズブチリスの HAI-0404 株の生芽胞 5 × 10 ⁹ CFU/g
SYJ-214WP	メダリオン水和剤	フルジオキシニル 50.0%
ZF-9646OD	DKF-1001 OD	新規化合物 10.0%
(殺虫剤)		
BCI-062 フロアブル	ガードナーフロアブル	イミダクロプリド 10.0% スピノサド 10.0%
BCI-071 フロアブル	モベントフロアブル	スピロテトラマト 22.4%
BCI-092 水和剤	キラップ J 水和剤	エチプロール 10.0% シラフルオフェン 20.0%
MBCI-071 フロアブル	アセルプリン	クロラントラニリプロール 18.4%
MTI-6701 顆粒水和剤	キックオフ顆粒水和剤	クロラントラニリプロール 4% ジノテフラン 15%
NNI-0745 粒剤	アクセルベイト	メタフルミゾン 0.2%
SYJ-159 乳剤	アグリメック	アバメクチン 1.8%
SYJ-210 フロアブル	ジュリボフロアブル	クロラントラニリプロール 8.7% チアメトキサム 17.5%
SYJ-228 顆粒水和剤	ポリウムガンダム顆粒水和剤	クロラントラニリプロール 5% エマメクチン安息香酸塩 2%
(殺虫・殺菌剤)		
DMMH-01 粒剤	ビルダーフェルテラスタークル粒剤	プロベナゾール 10% クロラントラニリプロール 0.75% ジノテフラン 2%
DMH-2475 粒剤	Dr.オリゼフェルテラ粒剤	プロベナゾール 24.0% クロラントラニリプロール 0.75%
HOI-2073 粒剤	フェルテラチェス箱粒剤	クロラントラニリプロール 0.75% ピメトロジン 3%
NNIF-0731 粒剤	フジワンフェルテラ粒剤	イソプロチオラン 12.0% クロラントラニリプロール 0.75%
NNIF-0751 粒剤	ブイゲットフェルテラ粒剤	チアジニル 12.0% クロラントラニリプロール 0.75%
SYJ-204FS	クルーザー MAXX	チアメトキサム 22.61% メタラキシル M 1.7% フルジオキシニル 1.12%

化学工業)は稲の箱灌注処理でイネミズゾウムシ・イネドロオウムシに対して試験された。NK-1001 乳剤は気門封鎖型の物理的作用を持ちアブラムシ類・ハダニ類に試験された。SB-7401 乳剤(エス・ディー・エス バイオテック)は、植物抽出物質が有効成分であり多様な害虫に対して試験実施された。HK-DBM(京都大学)は、コナガの天敵を誘引する物質により寄生率を増加させる目的で、徐放性の容器を設置吊り下げて施用するタイプ。Magnet(サンユーケミカル)はコナガ成虫を誘引する物質であり、スピノサド適用濃度に混用して微量散布することにより摂食させて死亡させることを目的とする。

生物農薬では、ALB-0663(アリストライフサイエンス)はメタリジウム属菌を作物の株元に施用することにより蛹化のため地表面に降りたアザミウマ類を防除することを目的としている。その他出光興産が新規 BT 剤として IK-2014・IK-2017 水和剤を、新規糸状菌製剤として IK-2018 水和剤を試験した。

III その他注目された事項

当協会では、農薬登録に必要な基本的な防除効果薬害試験を実施しているが、資材によっては普及場面での使用方法や体系防除における位置づけをより明確にする必要がある場合や、防除効果や薬害についても使用方法や処理時期等によっては集中的に検討する必要があると考えられる農業資材などに対して、特別連絡試験を行っている。

今年度は種子処理剤で取り組まれた課題を以下に一部紹介する。

クルーザー MAXX のダイズ病害防除および鳥害忌避効果、生育収量等への影響に関する特別連絡試験(シンジェンタジャパン株式会社)

クルーザー MAXX は、殺虫成分のチアメトキサムと殺菌成分のメトラキシル M、フルジオキシニルを有効成分とする種子処理剤である。

本連絡試験では、本剤の寒冷地および水田転作におけるダイズの安定生産資材としての評価を得るため、全国から 11 の試験機関が参加し実施された。

病害の防除効果試験は、茎疫病、ピシウム菌による苗立枯病、黒根腐病、リゾクトニア根腐病、紫斑病を対象に行われたが、いずれの対象病害についても安定した高い効果が確認された。また、鳥害忌避効果においてはキジバトに対し対照薬剤のチウラム剤と同程度の忌避効果が認められた。ダイズの生育、収量、品質等に対する影響試験においても大きな悪影響は認められず、本剤をダイズへ種子処理することにより苗立時に問題となる病害などを防除し、安定生産へ寄与する有効な薬剤であることが確認された。

IV 最近名称に変更があった薬剤

多くの薬剤は初めて委託に出される際にはコード番号などを薬剤名として使用しているが、登録に伴って商品名が命名される。また、商品名がつけられる前に何らかの事情で名称変更されることもあり、過去の試験と比較するとき、戸惑うこともある。そこで、最近名称に変更があった薬剤の一覧表を作成した(表-4)。比較検討時の参考になれば幸甚である。

表-5 平成 22 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(病害防除:イネ・ムギ)

作物名	病虫害名	薬剤名	作物名	病虫害名	薬剤名
稲	いもち病	HM-2061 フロアブル, HOF-0827 フロアブル, MH-1375 粒剤, NNF-1034 フロアブル, NNIF-1033MC, アプライスタークル粒剤, アプライプリンス粒剤 10, アプライプリンス粒剤 6, アミスターアクタラ SC, ビルダーフェルテラスタークル粒剤, ビームエイトゾル, ファンタジスタ顆粒水和剤, ブラシキクラブフロアブル, NNIF-0861 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤	稲	紋枯病	BCF-081 粒剤, BCM-091 粒剤, BCM-092 粒剤, HM-0851 粉剤 DL, HM-0852 粉剤 DL, HM-0853 フロアブル, HM-0854 フロアブル, HOF-0827 フロアブル, NNF-1034 フロアブル
			穂枯れ(ごま葉枯病菌)	ツインターボフェルテラ箱粒剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチン粒剤	
			墨黒穂病	イモチエースキクラブ粒剤, イモチミン粒剤	

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	もみ枯細菌病	Dr. オリゼフェルテラ粒剤, MH-1375 粒剤, アプライスタークル粒剤, アプライプリンス粒剤 10, アプライプリンス粒剤 6, エコフィット, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ファーストオリゼプリンス粒剤 10, ブイゲットスタークル粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤, ルーチン粒剤	稲	内穎褐変病	アプライプリンス粒剤 10, ブイゲットアドマイヤーリンバー粒剤, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤, ルーチン粒剤
	白葉枯病	BCM-093 粒剤, DMH-0902 粒剤, Dr.オリゼフェルテラ粒剤, MH-1375 粒剤, ツインターボフェルテラ箱粒剤, ファーストオリゼ箱粒剤, ブイゲット粒剤, ルーチンバリアード箱粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤		苗立枯病 (フザリウム菌)	TKS-1
苗立枯病 (ビシウム菌)			TKS-1, ランマンフロアブル		
小麦	赤かび病	トップジン M 粉剤 DL, ベンレート水和剤	雪腐小粒菌核病	MAF-0801EW	
			雪腐大粒菌核病	フロンサイド SC	
			麦類	うどんこ病	ワークアップ粉剤 DL

平成 22 年度は 90 薬剤 423 試験が実施された。薬剤数, 試験数共に昨年とほぼ同様だった。

表-6 平成 22 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除: 野菜・花き)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名	
ばれいしょ	軟腐病	NNF-0920 フロアブル	きゅうり	べと病	DKF-1001OD	
	疫病	NNF-0920 フロアブル		褐斑病	Z ボルドー, アリエッティ C 水和剤, オーソサイド水和剤 80	
	そうか病	コサイド 3000 ドライフロアブル		黒星病	スコア顆粒水和剤, プロポーズ顆粒水和剤, ベルクートフロアブル	
やまのいも	葉渋病	コサイド 3000 ドライフロアブル	だいこん	炭疽病	ダイアメリット DF, ダイパワー水和剤	
だいず	べと病	ランマン 400SC		うどんこ病	AKD-5188FL20, イオウフロアブル, プロポーズ顆粒水和剤	
	紫斑病	S-2200 40SC	メロン	うどんこ病	プロバティフロアブル	
さやえんどう	灰色かび病	BCF-061 フロアブル	すいか	うどんこ病	プロバティフロアブル	
	菌核病	BCF-061 フロアブル	だいこん	白さび病	コサイド 3000 ドライフロアブル	
とうもろこし	紋枯病	モンカットフロアブル 40	かぶ	根こぶ病	ネビリュウ, フロンサイド SC	
ホップ	べと病	コサイド 3000 ドライフロアブル	はくさい	白斑病	プロポーズ顆粒水和剤	
こんにゃく	葉枯病	IC ボルドー 412・水和剤, IC ボルドー 48Q・水和剤		根こぶ病	オラクル顆粒水和剤	
	なす	うどんこ病	プロバティフロアブル	キャベツ	べと病	シグナム WDG, ジャストフィットフロアブル
トマト		疫病	ベンコゼブ水和剤, 日曹ムッシュボルドー DF	カリフラワー	根こぶ病	ネビリュウ
		葉かび病	クリーンカップ, ベンコゼブ水和剤	ブロッコリー	根こぶ病	ネビリュウ
すすかび病		ファンベル顆粒水和剤	こまつな	根こぶ病	ネビリュウ	
うどんこ病	AFH-0001 顆粒水和剤, クリーンサポート, パンチョ TF ジェット	のぎわな	根こぶ病	ネビリュウ		
ピーマン	うどんこ病		AKD-5188FL20	白さび病	ライメイフロアブル	
きゅうり	褐斑細菌病	コサイド 3000 ドライフロアブル				

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
みずな	根こぶ病	ネビリュウ	アスバラガス	褐斑病	コサイド 3000 ドライフロアブル
たかな	白さび病	ライメイフロアブル		茎枯病	シグナム WDG
いちご	炭疽病	ビオネクト	レタス	べと病	ジャストフィットフロアブル
ねぎ	べと病	ジャストフィットフロアブル, ダイナモ顆粒水和剤, ベトファイター顆粒水和剤		すそ枯病	アミスター 20 フロアブル, フロンサイド SC
	黒斑病	AFH-0001 顆粒水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤	ごぼう	黒あざ病	SYJ-184 粒剤
	さび病	ファンタジスタ顆粒水和剤	にんじん	うどんこ病	ファンタジスタ顆粒水和剤
たまねぎ	べと病	シグナム WDG, ダイナモ顆粒水和剤	セルリー	斑点病	フォリオゴールドフロアブル
	灰色かび病	BCF-061 フロアブル, ダイパワー水和剤, デビュー乳剤	ほうれんそう	べと病	ALF-0911 水和剤, KUF-2101 水和剤, ジャストフィットフロアブル
にら	さび病	オンリーワンフロアブル	しそ	さび病	ハーモメイト水溶剤
にんにく	葉枯病	アフエットフロアブル	ばら	うどんこ病	パンチョ TF ジェット
	さび病	シグナム WDG	まさき	うどんこ病	パッチコロソ水和剤
			さるすべり	うどんこ病	パッチコロソ水和剤
			はなみずき	うどんこ病	パッチコロソ水和剤

平成 22 年度依頼された薬剤数は 118 剤、試験数は 760 件であった。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤は AFH-0001 顆粒水和剤（テブフロキン：明治製菓）、DKF-1001OD（新規化合物：デュボン）であった。

表-7 平成 22 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：果樹・茶・芝）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	黒斑病	ダイパワー水和剤	すもも	炭疽病	フリントフロアブル 25
	黒星病	S-2200 40SC	あんず	かいよう病	マイコシールド
	黒星病（休眠期）	ビオネクト		灰星病	BCF-061 フロアブル
	炭疽病	オーソサイド水和剤 80, ダイパワー水和剤	うめ	かいよう病	日曹ムッシュボルドー DF, ベジキーパー水和剤
	うどんこ病	インダーフロアブル, プロパティフロアブル		黒星病	アフエットフロアブル, ダイパワー水和剤
		すす斑病		S-2200 40SC, アミスター 10 フロアブル	
もも	せん孔細菌病	NR-24 水和剤	ぶどう	べと病	KUF-2101 水和剤, フォリオゴールドフロアブル
	灰星病	MAF-0801SC, S-2200 40SC, パスポート顆粒水和剤		灰色かび病	エコショット
	果実赤点病	ナリア WDG, ベルクート水和剤		褐斑病	インダーフロアブル
	黒星病	MAF-0801SC, オーシャインフロアブル		黒とう病	ダイパワー水和剤, S-2200 40SC
	すすかび病	ベルクート水和剤		晩腐病	ダイパワー水和剤
	縮葉病	アリエッティ C 水和剤		さび病	日曹ムッシュボルドー DF
	縮葉病（休眠期）	ビオネクト		うどんこ病	プロパティフロアブル, S-2200 40SC, アフエットフロアブル, エコショット
	ホモプシス腐敗病	アミスター 10 フロアブル, オーシャインフロアブル			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名		
かき	落葉病	サルバトール ME	茶	炭疽病	S-2200 40SC		
	炭疽病	MAF-0801SC	芝	ダラスポット病	BAF-0803 フロアブル, GG226SC, NF-168 顆粒水和剤, NNF-0929 顆粒水和剤, SB-3651 顆粒水和剤, ボディープロー水和剤, ラリー水和剤, ワンオン水和剤		
	うどんこ病	ファンタジスタ顆粒水和剤					
りんご	赤星病	スコア顆粒水和剤				フェアリーリング病	BAF-0803 フロアブル, GG226SC, ミラージュフロアブル
	腐らん病	フリントフロアブル 25				疑似葉腐病 (春はげ症)	GG202 顆粒水和剤
	斑点落葉病	コサイド 3000 ドライフロアブル				疑似葉腐病 (象の足跡)	芝美人フロアブル
	褐斑病	NNF-0820 フロアブル, キノンドー水和剤 80, コサイド 3000 ドライフロアブル				カーブラリア葉枯病	BAF-0803 フロアブル, NF-168 顆粒水和剤, SB-3651 顆粒水和剤, メダリオン水和剤
	黒星病	BCF-061 フロアブル, スコア顆粒水和剤				葉腐病 (ブラウンパッチ)	BAF-0803 フロアブル, GG202 顆粒水和剤, GG226SC, SB-3651 顆粒水和剤, デディケートフロアブル, ミラージュフロアブル
	モニリア病	BCF-061 フロアブル, MAF-0801SC, ベンレート水和剤				葉腐病 (ラージパッチ)	BAF-0803 フロアブル, GG202 顆粒水和剤
	すす点病・すす斑病	キノンドー水和剤 80				ビシウム病	シグネチャー WDG, トルファン
	炭疽病	キノンドー水和剤 80				赤焼病	シグネチャー WDG
	うどんこ病	インダーフロアブル	炭疽病	GG226SC, NF-168 顆粒水和剤, NNF-0929 顆粒水和剤, SB-3651 顆粒水和剤, ミラージュフロアブル, ラリー水和剤			
	おうとう	灰星病	S-2200 40SC				
炭疽病		ドーシャスフロアブル					
かんきつ	かいよう病	NNF-0920 フロアブル					
	灰色かび病	S-8585WP, インダーフロアブル					
	褐色腐敗病	リドミルゴールド MZ 顆粒水和剤, レーバスフロアブル					
茶	赤焼病	日曹ムッシュボルドー DF					
	もち病	NNF-0920 フロアブル					
	輪斑病	S-2200 40SC					

平成 22 年度に依頼された試験は落葉果樹 45 薬剤 234 試験, 寒冷地果樹 23 薬剤 80 試験, 常緑果樹で 19 薬剤 46 試験であった。茶の分野では 8 薬剤 42 試験, 芝草の分野では 23 薬剤 158 試験であった。いずれの分野も昨年と同様の件数であった。

表-8 平成22年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除：生物農薬)

作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分
稲	苗立枯病 (フザリウム菌)	IK-158 水和剤	タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 の生孢子
		KNB-L422 フロアブル	糸状菌
	苗立枯病 (リゾープス菌)	IK-158 水和剤	タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 の生孢子
	苗立枯病 (トリコデルマ菌)	IK-158 水和剤	タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 の生孢子
	もみ枯細菌病 (種子消毒)	IK-158 水和剤	タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 の生孢子
		KNB-L422 フロアブル	糸状菌
	苗立枯細菌病 (種子消毒)	IK-158 水和剤	タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 の生孢子
		KNB-L422 フロアブル	糸状菌
	いもち病 (種子消毒)	IK-158 水和剤	タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 の生孢子
	ごま葉枯病 (種子消毒)	タフブロック	タラロマイセス フラバス
ばか苗病 (種子消毒)	IK-158 水和剤	タラロマイセス フラバス SAY-Y-94-01 の生孢子	
	タフブロック	タラロマイセス フラバス	
ばれいしょ	軟腐病	NR-24 水和剤	細菌
はくさい	黒腐病	ベジキーパー水和剤	シュードモナス フルオレッセンス
		NR-24 水和剤	細菌
ねぎ	軟腐病	NR-24 水和剤	細菌
にんにく	黒腐菌核病	ミニタン WG	コニオチリウム ミニタンス CON/M/91-08 株孢子
セルリー	斑点病	アグロケア水和剤	バチルス ズブチリス HAI-0404 株の生芽胞
パセリ	斑点病	エコショット	<i>Bacillus subtilis</i>
しそ	斑点病	エコショット	<i>Bacillus subtilis</i>
ばら	うどんこ病	アグロケア水和剤	バチルス ズブチリス HAI-0404 株の生芽胞

平成22年度は6薬剤の依頼があり67試験が実施された。昨年より試験数は増加した。

表-9 平成22年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除：家庭園芸)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
きゅうり	うどんこ病	GL-43 (スプレー), GL-49 (スプレー)	ばら	うどんこ病	GL-43 (スプレー), GL-49 (スプレー), SB-367 (スプレー)
かぼちゃ	うどんこ病	KIF-27AL	パンジー	灰色かび病	GL-49 (スプレー)
いちご	うどんこ病	GL-43 (スプレー)	ベチュニア	うどんこ病	GL-43 (スプレー), GL-49 (スプレー), SB-367 (スプレー)
きく	褐斑病	SYJ-181 スプレー	バーベナ	うどんこ病	GL-43 (スプレー), GL-49 (スプレー), SB-367 (スプレー)

平成22年度は19薬剤について121試験が実施された。試験薬剤数、試験数共に昨年と同様だった。

表-10 平成 22 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（殺虫剤：イネ・ムギ）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	ウンカ類	BCM-091 粒剤, BCM-092 粒剤, BCM-093 粒剤, HM-0823 フロアブル, HM-0824 フロアブル, HM-0853 フロアブル, HM-0854 フロアブル, HM-0939 粉剤 DL, MH-1375 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, SYJ-233 箱粒剤, ビルダーフェルテラスタークル粒剤, ブラシキクラブフロアブル, 嵐キクラブ粒剤, 嵐スタークル箱粒剤	稲	コブノメイガ	BCM-092 粒剤, HM-0809 粉剤 DL, HM-0939 粉剤 DL, MH-1375 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, アブライプリンス粒剤 10, チューンアップ顆粒水和剤, ビルダーフェルテラスタークル粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤, フェルテラ箱粒剤
		BCM-091 粒剤, Dr.オリゼフェルテラ粒剤, HM-0823 フロアブル, HM-0824 フロアブル, MH-1375 粒剤, NNIF-0861 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤 08, ビルダーフェルテラスタークル粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤, フジワンフェルテラ粒剤, ワンリード箱粒剤 08, 嵐スタークル箱粒剤, BCM-091 粒剤, HM-0939 粉剤 DL, スタウトダントツ箱粒剤 08, ワンリード箱粒剤 08			BCM-093 粒剤, XI-0603 箱粒剤, フェルテラチェス箱粒剤, フェルテラ箱粒剤
	ツマグロヨコバイ	BCM-091 粒剤, Dr.オリゼフェルテラ粒剤, HM-0823 フロアブル, HM-0824 フロアブル, MH-1375 粒剤, NNIF-0861 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤 08, ビルダーフェルテラスタークル粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤, フジワンフェルテラ粒剤, ワンリード箱粒剤 08, 嵐スタークル箱粒剤, BCM-091 粒剤, HM-0939 粉剤 DL, スタウトダントツ箱粒剤 08, ワンリード箱粒剤 08	イネツトムシ	BCM-093 粒剤, XI-0603 箱粒剤, フェルテラチェス箱粒剤, フェルテラ箱粒剤	
	カメムシ類	HM-0939 粉剤 DL, HM-2061 フロアブル, IKI-220SC, NNIF-1033MC, SYJ-233 箱粒剤, アミスターアクタラ SC, キラップ粉剤 DL, トレボンスターフロアブル, ブラシキクラブフロアブル	フタオビコヤガ	BCM-092 粒剤, BCM-093 粒剤, BCM-094 粒剤, DMH-0902 粒剤, HM-0809 粉剤 DL, HM-0826 フロアブル, HM-0830 粉剤 DL, NNIF-0861 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, XI-0603 箱粒剤, アブライフェルテラ粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤, フジワンフェルテラ粒剤	
	イネクロカメムシ	BASF プリンス粒剤, ビルダープリンス粒剤, 嵐プリンス箱粒剤 10, 嵐プリンス箱粒剤 10	イネドロオイムシ	BAC-1013 粒剤, BCM-092 粒剤, DMH-0902 粒剤, MH-1001 粒剤, MH-1375 粒剤, NNIF-0861 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, SYJ-233 箱粒剤, XI-0603 箱粒剤, アブライスタークル粒剤, アブライフェルテラ粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, キラップフロアブル, ビルダープリンスチェス粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤	
	イナゴ類	HM-0803 粉剤 DL, HM-0806 粉剤 DL, HM-0837 粉剤 DL, HM-0934 粉剤 DL, HM-0936 粉剤 DL, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, ブラシキクラブフロアブル, ブラシキクラブフロアブル	イネミズゾウムシ	BCM-092 粒剤, DMH-0902 粒剤, MH-1001 粒剤, MH-1375 粒剤, NNIF-0861 粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, SYJ-233 箱粒剤, XI-0603 箱粒剤, アブライスタークル粒剤, アブライフェルテラ粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6	
	イネアザミウマ	BASF プリンス粒剤, BCM-093 粒剤, アドマイヤー CR 箱粒剤	イネヒメハモグリバエ	BCM-093 粒剤, アドマイヤー CR 箱粒剤, スタウトダントツ箱粒剤, ブイゲットフェルテラ粒剤	
	ニカメイチュウ	BCM-092 粒剤, DMH-0902 粒剤, Dr.オリゼフェルテラ粒剤, NNIF-1031 粒剤, NNIF-1032 粒剤, OK-6101 箱粒剤, SYJ-233 箱粒剤, XI-0603 箱粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, スタートクル豆つぶ, ファーストオリゼプリンス粒剤 6, フェルテラチェス箱粒剤, フェルテラ箱粒剤, ルーチンバリアド箱粒剤	イネカラバエ	グラントオンコル粒剤, ブイゲットグラントオンコル粒剤	
				スクミリンゴガイ	NEU-1184M
			休耕地	カメムシ類	キラップフロアブル

平成 22 年度は稲・麦用に 90 剤、のべ 546 件の試験が受託された。全体としては箱粒剤の混合製剤が 7 割以上を占めた。対象としては各種害虫に分散する傾向であった。

表-11 平成22年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(殺虫剤:野菜・花き)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
野菜類	ヨトウガ	コナガコン-プラス	とうもろこし	アブラムシ類	ウララ DF
ばれいしょ	アブラムシ類	IKI-1145 粒剤 1.5, ME5343 顆粒水和剤		アワノメイガ	アクセルフロアブル, プレバソンフロアブル 5
	ナストビハムシ	モスピラン SL 液剤		オオタバコガ	プレオフロアブル
かんしょ	ナカジロシタバ	アクセルフロアブル, ファルコンフロアブル, フェニックス顆粒水和剤	てんさい	タネバエ	クルーザー FS30
	ハスモンヨトウ	ポリウムガンダム顆粒水和剤		アブラムシ類	モスピラン SL 液剤
	コガネムシ類	アドマイヤー 1 粒剤	さとうきび	テンサイトビハムシ	モスピラン SL 液剤
	ネコブセンチュウ	MAI-08012 粒剤, ネマキック粒剤		カンシャコバネナガカメムシ	ダントツフロアブル
さといも	ネキリムシ類	ガードベイト A		シロアリ	プリンスベイト
	ハスモンヨトウ	アクセルフロアブル		アザミウマ類	ダントツフロアブル
	コガネムシ類	ダイアジノン SL ソル	メイチュウ類	プリンスベイト	
	ネグサレセンチュウ	ネマキック粒剤	シロスジオサゾウムシ	プリンスベイト	
やまのいも	アブラムシ類	アドマイヤー 1 粒剤	なす	アブラムシ類	XI-0701SC, モベントフロアブル
	ナガイモコガ	アクタラ粒剤 5		コナジラミ類	MTI-446 粒剤 1, オレート液剤, コルト顆粒水和剤
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル		アザミウマ類	モベントフロアブル
だいず	アブラムシ類	ME5343 顆粒水和剤		トマト	テントウムシダマシ
	カメムシ類	アミスターアクタラ SC	ハモグリバエ類		プレバソンフロアブル 5
	マメシクイガ	Z ボルドートレボン粉剤 DL, フェニックス顆粒水和剤	ハダニ類		KPP-207 水和剤, アファーム乳剤
	ネキリムシ類	アクセルベイト	ネコブセンチュウ		ガードホープ液剤
	ハスモンヨトウ	XI-0601OD	ピーマン	アブラムシ類	XI-0601OD, XI-0701SC
	フタスジヒメハムシ	ダントツフロアブル, ダントツ粒剤		コナジラミ類	AKD-5188FL20, BCI-093SL, XI-0601OD, XI-0701SC, オレート液剤, コルト顆粒水和剤
	ネコブセンチュウ	IKI-1145 粒剤 1.5		タバココナジラミ類	ANM-138 フロアブル
	あずき	アブラムシ類		ME5343 顆粒水和剤, SYJ-204FS, ウララ DF	アザミウマ類
いんげん		コナジラミ類	MTI-446 水溶液 (顆粒)	ミカンキイロアザミウマ	マハラジャ乳剤
	ハモグリバエ類	ポリウムガンダム顆粒水和剤	ハモグリバエ類	AKD-1162 乳剤	
	ネコブセンチュウ	IKI-1145 粒剤 1.5	アブラムシ類	XI-0601OD, モベントフロアブル	
えんどう	ハモグリバエ類	ディアナ SC, プレバソンフロアブル 5	コナジラミ類	MTI-446 粒剤 1, アグリメック, モベントフロアブル	
	ナモグリバエ	マハラジャ乳剤	アザミウマ類	XI-0601OD	
そらまめ	ハモグリバエ類	プレオフロアブル			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ピーマン	オオタバコガ	アクセルフロアブル, アフ ファーム乳剤	はくさい	アブラムシ類	MTI-6701 顆粒水和剤, XI-0701SC
	ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤		コナガ	AKD-1186 粉剤 DL, フェ ニックス顆粒水和剤
きゅうり	アブラムシ類	XI-0701SC, モベントフ ロアブル	キャベツ	アオムシ	トレボン粉剤 DL, ポリア ムガンダム顆粒水和剤
	コナジラミ類	AKD-5188FL20, MTI- 446 粒剤 1, XI-0601OD, XI-0701SC, オレート液剤		ハイマダラノメイガ	キックオフ顆粒水和剤, ト ルネードエース DF
	ミナミキイロアザミウ マ	アフファーム乳剤		ヨトウムシ	AKD-1186 粉剤 DL
	ウリノメイガ	XI-0601OD		ハスモンヨトウ	アクセルフロアブル
	ネキリムシ類	ガードベイト A		アブラムシ類	IKI-1145 粒剤 1.5, XI- 0601OD, XI-0701SC, アク タラ顆粒水溶剤, ガードナ ーフロアブル, モスピラン ワン粒剤, ヨネボン水和剤
	ウリハムシ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)		コオロギ類	アクセルベイト
	ネコブセンチュウ	MAI-08012 粒剤		ネギアザミウマ	XI-0601OD, XI-0701SC, アグロスリン水和剤, スピ ノエース顆粒水和剤, セル オーフロアブル, ディアナ SC
	メロン	コナジラミ類		MTI-446 粒剤 1	コナガ
すいか	オオタバコガ	コテツフロアブル	アオムシ	プレバソンフロアブル 5, マハラジャ乳剤	
	ハモグリバエ類	プレバソンフロアブル 5	ハイマダラノメイガ	BASF プリンス粒剤, キッ クオフ顆粒水和剤, ジュリ ボフロアブル, プレバソン フロアブル 5	
	ハダニ類	KPP-207 水和剤, コテツ フロアブル, ニッソラン水 和剤	ネキリムシ類	アクセルベイト, セルオー フロアブル	
かぼちゃ	アブラムシ類	ウララ DF	ウワバ類	アクセルフロアブル	
ズッキーニ	アブラムシ類	モベントフロアブル	ヨトウムシ	AKD-1186 粉剤 DL	
	コナジラミ類	モベントフロアブル	ハスモンヨトウ	XI-0601OD, XI-0701SC, プレバソンフロアブル 5	
にがうり	コナジラミ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒), MTI-446 粒剤 1	カリフラワー	アブラムシ類	ジュリボフロアブル
だいこん	アブラムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒), XI-0601OD, ヨネボン水 和剤	コナガ	ジュリボフロアブル	
	コナガ	AKD-1186 粉剤 DL	アオムシ	ジュリボフロアブル	
	アオムシ	AKD-1186 粉剤 DL, XI- 0601OD	ハスモンヨトウ	アクセルフロアブル, ジュ リボフロアブル	
	ヨトウムシ	AKD-1186 粉剤 DL, アク セルフロアブル	アブラムシ類	ガードナーフロアブル	
	ダイコンサルハムシ	モスピラン水溶剤	ブロccoli	アブラムシ類	ガードナーフロアブル
	キスジノミハムシ	IKI-002 粉粒剤			
	ナモグリバエ	パダン SG 水溶剤			
かぶ	コナガ	アニキ乳剤			
	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤 5			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ブロッコリー	ネギアザミウマ	XI-0701SC	ねぎ	ネギハモグリバエ	AKD-1162 乳剤, XI-0601OD, アファーム乳剤, ダントツ粒剤, プレバソンフロアブル 5, マハラジャ乳剤
	コナガ	NK-0503 水和剤, キックオフ顆粒水和剤, XI-0701SC			
	アオムシ	XI-0601OD, XI-0701SC, アニキ乳剤	たまねぎ	ネギアザミウマ	ダントツ水溶剤
	ハイマダラノメイガ	BASF プリンス粒剤, ジュリボフロアブル, プレバソンフロアブル 5	にら	ネキリムシ類	ガードベイト A
	ヨトウムシ	アクセルフロアブル, ポリアムガンダム顆粒水和剤	にんにく	イモグサレセンチュウ	キルパー液剤, クロルピクリン錠剤
	ハスモンヨトウ	XI-0601OD, XI-0701SC, アクセルフロアブル, アファームエクセラ顆粒水和剤, フェニックス顆粒水和剤, プレバソンフロアブル 5	アスバラガス	アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル, ディアナ SC
	オオタバコガ	ポリアムガンダム顆粒水和剤		ヨトウムシ	スカウトフロアブル
		ハスモンヨトウ		ディアナ SC, トルネードエース DF	
チンゲンサイ	ヨトウムシ	スカウトフロアブル	レタス	アブラムシ類	スカウトフロアブル, ダントツ水溶剤, モスピラン水溶剤
こまつな	コナガ	アファーム乳剤, ポリアムガンダム顆粒水和剤		ヒメフタテンヨコバイ	プレバソンフロアブル 5
	キスジノミハムシ	アクセルフロアブル	ハスモンヨトウ	XI-0601OD, ポリアムガンダム顆粒水和剤	
みずな	キスジノミハムシ	アクセルフロアブル	オオタバコガ	DKI-1033 粒剤, XI-0601OD, XI-0701SC, フェニックス顆粒水和剤	
	アブラムシ類	ウララ DF	ナモグリバエ	AKD-1162 乳剤, DKI-1033 粒剤, XI-0601OD, XI-0701SC	
なばな	コナガ	ディアナ SC	ごぼう	アブラムシ類	ゲットアウト WDG
	アオムシ	アディオソ乳剤		ネグサレセンチュウ	ネマキック粒剤
	ヨトウムシ	スカウトフロアブル	しゅんぎく	ネキリムシ類	ガードベイト A
いちご	アブラムシ類	ME5343 顆粒水和剤, ハチハチフロアブル, モスピランワン粒剤, モベントフロアブル		ネコブセンチュウ	ラグビー MC 粒剤
	アザミウマ類	マハラジャ乳剤	ほうれんそう	ケナガコナダニ類	オンコル粒剤 5
	ハスモンヨトウ	アファーム乳剤, カウンター乳剤, フェニックス顆粒水和剤	しそ	ハダニ類	スターマイトフロアブル
ねぎ	ネギアザミウマ	MTI-446 粒剤 1, コルト顆粒水和剤, ダントツ水溶剤, ダントツ粒剤, ベストガード粒剤		チャノホコリダニ	スターマイトフロアブル
	ネギコガ	フェニックス顆粒水和剤	食用さくら(葉)	コスカシバ	スカシバコン L
	シロイチモジヨトウ	MTI-446 水溶剤(顆粒), ポリアムガンダム顆粒水和剤	花き類	アブラムシ類	アディオソ乳剤
				オオタバコガ	アディオソ乳剤
				ハモグリバエ類	ディアナ SC
			きく	アザミウマ類	XI-0601OD, ディアナ SC, ファルコンエースフロアブル

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
きく	オオタバコガ	カウンター乳剤, フローバック DF	さくら	モンクロシャチホコ	アデオシオン乳剤
	ハモグリバエ類	アクセルキングフロアブル, プレバソソフロアブル5	つばき	チャドクガ	アデオシオン乳剤
	マメハモグリバエ	アニキ乳剤	さざんか	チャドクガ	アセルプリン
	ナミハダニ	マハラジャ乳剤	まさき	マサキナガカイガラムシ	マツグリーン液剤 2
ばら	ハダニ類	テルスタージェット		マツグリーン液剤 2	
トルコギキョウ	アザミウマ類	ディアナ SC	ツノロウムシ	マツグリーン液剤 2	
			ミノウスバ	アデオシオン乳剤	
樹木類	アブラムシ類	アデオシオン乳剤	さんごじゅ	サンゴジュハムシ	マツグリーン液剤 2
	ケムシ類	エスマルク DF	ひいらぎもくせい	ヘリグロテントウノミハムシ	マツグリーン液剤 2
さつき	コガネムシ類	アドマイヤー 1 粒剤, ダイアジノン SL ゴル	いぬまさ	キオビエダジャク	アデオシオン乳剤, バダン SG 水溶剤
さくら	ケムシ類	GG291 水溶剤, アセルプリン	はなみずき	アメリカシロヒトリ	アデオシオン乳剤

平成 22 年度の依頼は 143 剤、のべ 1,842 件の試験が実施された。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤は MAI-08012 粒剤（新規化合物：エス・ディー・エス バイオテック）・XI-0601OD, XI-0701SC（シアントラニリプロール：デュボン）・モベントフロアブル（スピロテトラマト：バイエルクロップサイエンス）であった。マイナー作物はひとりに比べて減少したが、えんどう・そらまめのハモグリバエ類、ズッキーニのアブラムシ類・コナジラミ類、なばなの各種害虫、にんにくのイモグサレセンチュウ、アスパラガスの各種害虫、しそのハダニ類・チャノホコリダニ等の試験が進んだ。

表-12 平成 22 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（殺虫剤：果樹・茶・芝）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	ケムシ類	フェニックスフロアブル	すもも	ケムシ類	フェニックスフロアブル
	ハマキムシ類	XI-0801SE, サムコルフロアブル 10, フェニックスフロアブル, ファルコンフロアブル		シンクイムシ類	フェニックスフロアブル
	ナシヒメシンクイ	XI-0801SE		スモモヒメシンクイ	ディアナ WDG, ナシヒメコン
	シンクイムシ類	フェニックスフロアブル		ハダニ類	アーデント水和剤
	ケムシ類	サムコルフロアブル 10	うめ	カイガラムシ類	モスピラン水溶剤
	ハダニ類	ラビサンスプレー		ケムシ類	サムコルフロアブル 10
	ノコメトガリキリガ			モスピラン水溶剤, ロディー水和剤	
もも	カイガラムシ類	ラビサンスプレー	ぶどう	コナカイガラムシ類	オリオン水和剤 40
	ケムシ類	フェニックスフロアブル		カメムシ類	ダントツ水溶剤
	シンクイムシ類	テルスターフロアブル, フェニックスフロアブル		ケムシ類	フェニックスフロアブル
	モモハモグリガ	XI-0801SE, イカズチ WDG		スカシバ類	バダン SG 水溶剤
	コスカシバ	フェニックスフロアブル		モンキクロノメイガ	コテツフロアブル, サムコルフロアブル 10
	ハスモンヨトウ	XI-0801SE		コガネムシ類成虫	ダントツ水溶剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名	
ぶどう	ブドウトラカミキリ	ダントツ水溶剤	かんきつ	アザミウマ類	ウララ 50DF	
かき	チャノキイロアザミウマ	コルト顆粒水和剤		チャノキイロアザミウマ	ANM-138 フロアブル, アグリメック	
	カキノハタムシガ	サムコルフロアブル 10		ケムシ類	フェニックス顆粒水和剤, ロディー乳剤	
	ハダニ類	スターマイトフロアブル		ハマキムシ類	フェニックス顆粒水和剤, ロディー乳剤	
くり	カイガラムシ類	アタックオイル		ミカンハモグリガ	XI-0801SE, テルスターフロアブル	
いちじく	ハダニ類	スターマイトフロアブル		ヨモギエダシヤク	オリオン水和剤 40, ハチハチフロアブル	
りんご	アブラムシ類	ME5343 顆粒水和剤, キラップフロアブル, ピラニカ水和剤		ゴマダラカミキリ	キラップフロアブル	
	ケムシ類	ディアナ WDG, フェニックスフロアブル		スグリゾウムシ	コテツフロアブル	
	ハマキムシ類	XI-0801SE, サムコルフロアブル 10, フェニックス顆粒水和剤		ミカンバエ	ダントツ水溶剤, マハラジャ乳剤, バリュースターフロアブル	
	シンクイムシ類	XI-0801SE		チャノホコリダニ	NNI-1031 フロアブル, バリュースターフロアブル, マイトクリーン	
	ギンモンハモグリガ	XI-0801SE		サビダニ類	RM1963K 乳剤	
	キンモンホソガ	XI-0801SE		ミカンサビダニ	NNI-1031 フロアブル	
	ヨモギエダシヤク	サムコルフロアブル 10, フェニックスフロアブル, リーゼン顆粒水和剤		びわ	カイガラムシ類	アタックオイル
	ククイムシ	トラサイド A 乳剤			ミカンハダニ	スワルスキー
	ノウサギ	コニファー水和剤	マンゴー	チャノキイロアザミウマ	コルト顆粒水和剤	
	おうとう	チャノキイロアザミウマ	ウララ DF	茶	ミカントゲコナジラミ	コテツフロアブル
ケムシ類		XI-0801SE	チャノミドリヒメヨコバイ		XI-0601OD, クリアオール水和剤, バリュースターフロアブル	
ハマキムシ類		XI-0801SE, サムコルフロアブル 10	ツマグロアオカスミカメ		ハチハチ乳剤, ウララ DF	
コスカシバ		フェニックスフロアブル	チャノキイロアザミウマ		ANM-138 フロアブル, XI-0601OD, クリアオール水和剤	
オウトウショウジョウバエ		XI-0801SE, サムコルフロアブル 10	チャノココクモンハマキ		フェニックスフロアブル	
ブルーベリー	オウトウショウジョウバエ	ディアナ WDG	チャハマキ	XI-0601OD, フェニックスフロアブル		
かんきつ	アブラムシ類	ME5343 顆粒水和剤, テルスターフロアブル	チャノホソガ	フェニックスフロアブル		
	カイガラムシ類	NNI-1031 フロアブル	ヨモギエダシヤク	XI-0601OD, サムコルフロアブル 10, フェニックスフロアブル		
	ナシマルカイガラムシ	ダントツ水溶剤	ハスモンヨトウ	フェニックスフロアブル		
	コナジラミ類	コルト顆粒水和剤				
	チャノミドリヒメヨコバイ	テルスターフロアブル				
	カネタタキ	コテツフロアブル				

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
茶	カンザワハダニ	クリアオール水和剤, バリユースターフロアブル	芝	タマナヤガ	GG201 顆粒水和剤, NNI-1041 フロアブル, スティンガーフロアブル
	チャノナガサビダニ	オマイト EW, カスケード乳剤, クリアオール水和剤, ダニエモンフロアブル		スジキリヨトウ	GG201 顆粒水和剤, エスペランサ, NNI-1041 フロアブル, スティンガーフロアブル
芝	チガヤシロオカイガラムシ	NNI-1041 フロアブル		コガネムシ類	IKI-7899SC, エスペランサ, NNI-1041 フロアブル
	ケラ	ジェイエース水溶剤		シバオサゾウムシ	NNI-1041 フロアブル
	シバツトガ	GG201 顆粒水和剤, IKI-7899SC, エスペランサ, NNI-1041 フロアブル, スティンガーフロアブル	ミミズ糞塚形成阻害	ガゼット粒剤, シバラック MC	

平成 22 年度の落葉果樹分野では 38 薬剤が依頼され、のべ 236 件の試験が受託された。寒冷地果樹分野では 25 剤が依頼、のべ 109 件が受託、常緑果樹分野では 38 薬剤が依頼、のべ 177 件が受託、茶分野では 29 薬剤が依頼、のべ 118 件が受託、芝草分野では 12 剤が依頼、のべ 122 件が受託された。

表-13 平成 22 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（殺虫剤：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分
野菜類	コナジラミ類	ALB-0664 水和剤	<i>Beauveria bassiana</i>
アスパラガス	オオタバコガ	NR-17 液剤	オオタバコガ核多核体病ウイルス
だいこん	ネキリムシ類	パイオトピア	スタイナーネマグラセライ
なす	タバココナジラミ類	RS-2	コミドリチビトミカスミカメ
	アザミウマ類	RS-2	コミドリチビトミカスミカメ
なす	コナジラミ類	IK-19	スワルスキーカブリダニ
花き類	アザミウマ類	スワルスキー	スワルスキーカブリダニ
なす	アザミウマ類	CAS-014	キイカブリダニ

平成 22 年度の生物農薬連絡試験では、23 薬剤が依頼され、のべ 87 件の試験が受託された。本年度初めて申請に足る試験数が得られた生物種は、CAS-014（キイカブリダニ）、RS-2（コミドリチビトミカスミカメ）が挙げられる。

表-14 平成22年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(殺虫剤:家庭園芸)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なす	アブラムシ類	GL-42(液剤), GL-46(スプレー), GL-49(スプレー)	ばら	アブラムシ類	GL-43(スプレー), GL-49(スプレー), SB-367(スプレー)
	コナジラミ類	GL-43(スプレー)		チュウレンジハバチ	GL-43(スプレー)
	テントウムシダマシ類	GL-46(スプレー)		ハダニ類	GL-43(スプレー)
	ハモグリバエ類	GL-42(液剤)	カーネーション	ハダニ類	GL-43(スプレー)
	ハダニ類	KIF-21AL			
トマト	アブラムシ類	GL-43(スプレー), GL-46(スプレー), GL-49(スプレー)	デージー	アブラムシ類	GL-43(スプレー), GL-49(スプレー)
			マリーゴールド	ハスモンヨトウ	GL-43(スプレー)
きゅうり	アブラムシ類	GL-42(液剤), GL-43(スプレー), GL-49(スプレー)	パンジー	アブラムシ類	サンヨール液剤 AL
	コナジラミ類	GL-42(液剤)	はほとん	アオムシ	GL-43(スプレー)
キャベツ	アブラムシ類	GL-46(スプレー)	ペチュニア	ハモグリバエ類	カダン殺虫肥料
	コナガ	GL-42(液剤)	ほおずき	ナミハダニ	KIF-21AL
	アオムシ	GL-42(液剤), GL-46(スプレー)	ポインセチア	タバココナジラミ	SYJ-177 顆粒水溶剤, SYJ-215 粒剤
こまつな	アブラムシ類	GL-46(スプレー)	樹木類	ケムシ類	STセンターリ顆粒水和剤
			つつじ類	ツツジグンバイ	GL-43(スプレー)
いちご	アブラムシ類	GL-43(スプレー)	さくら	アメリカシロヒトリ	GL-43(スプレー)
	ハダニ類	GL-43(スプレー)	つばき類	チャドクガ	GL-43(スプレー), GL-49(スプレー)
花き類	アブラムシ類	GL-46(スプレー)	さるすべり	アブラムシ類	TGA-72(エアゾル)
きく	アブラムシ類	GL-43(スプレー), GL-49(スプレー), SB-367(スプレー)	うめ	アブラムシ類	GL-42(液剤)
			かき	カキノヘタムシガ	GL-42(液剤)

平成22年度の家庭園芸分野では15薬剤が依頼され、のべ153件の試験が受託された。野菜・花き類対象が多かったが、果樹類・樹木類への試験もあった。

訂正とお詫び

第65巻2月号に以下の誤りがございました。

お詫び申し上げますとともに、該当箇所(下線部)の訂正をお願い致します。

●22ページ「引用文献」一覧

- 誤 8) _____ (2006): 土壤伝染病談話会レポート 23: 114~119.
 正 8) 柴田 聡 (2006): 土壤伝染病談話会レポート 23: 114~119.

●33ページ「表-1」の下から10行目

- 誤 ベニバナインゲン 茎根腐病 奈良
 正 ベニバナインゲン 茎根腐病 茨城